

## 第72次福井県学力調査(SASA2023)の結果について

### 1 調査について

#### (1) 目的

県内の児童生徒の学力および学習状況を把握・分析し、学校における児童生徒への学習支援の充実や授業改善等に役立てる。

#### (2) 対象

	参加学校数	参加児童・生徒数
小学校第5学年	183校	6,059人
中学校第2学年	75校	6,115人
合計	258校	12,174人

※小学校：義務教育学校前期課程を含む

※中学校：高志中学校、特別支援学校、義務教育学校後期課程を含む

※障がい等のある児童・生徒への対応について

・ルビ版の問題で調査に参加：小学校167名、中学校59名

・拡大版の問題で調査に参加：小学校4名、中学校2名

#### (3) 実施日

令和5年12月5日(火) 小学校(国語、算数) 中学校(国語、数学、英語)  
12月6日(水) 小学校(社会、理科) 中学校(社会、理科)

#### (4) 調査時間

小学校 1教科45分、中学校 1教科50分

#### (5) 調査問題の種類

- ①基礎力問題(学習した知識や技能が確実に習得されているかを問う問題)
- ②活用力問題(学習した知識や技能を実生活など様々な場面に活用し、問題解決する力を問う問題)

### 2 学校支援について

学校および市町教育委員会に、教育総合研究所ホームページから以下内容を提供

- (1) 1月11日 結果データ(各学校の正答率等)、個人票(児童生徒の解答結果)
- (2) 1月中旬 分析資料(各教科の良好・課題等)
- (3) 2月上旬 オンデマンド研修、訪問型研修(分析結果と課題に対する手立て)
- (4) 2月下旬 報告書

### 3 児童生徒支援について

#### (1) 自己評価表

調査終了後、すぐに振り返りができる自己評価表を提供。自己評価表には、正答および物事を捉える視点、物事の考え方を示している。

#### (2) 解説動画

自己評価表に記載した二次元コードを読み取り、視聴しながら振り返りができる解説動画を提供

#### 4 各教科の良好・課題について (小)：小学校 (中)：中学校

(小) 国語	良好	<b>会話の流れやアンケートの結果を基に、発表する相手と内容を考える問題</b> 会話の流れを踏まえ、「食に関するアンケート」結果の内容を比較するなどして、発表するために必要な事柄を選ぶことができていた。
	課題	<b>物語を読んで複数の叙述から状況を読み取り、登場人物の気持ちを説明する問題</b> 複数の叙述を基に場面の中の登場人物の状況を読み取り、その状況や描写から登場人物の気持ちを考えて説明することに課題が見られた。
(小) 社会	良好	<b>複数の資料を関連付け、伝統芸能を継承していくための工夫について捉える問題</b> 水海の田楽能舞に関する資料と保存会の人に聞き取った内容を関連付け、伝統芸能を継承していくための工夫を捉えることができていた。
	課題	<b>経度を正しく捉える問題</b> 東経と西経が表す範囲を正しく理解し、北緯 40 度と西経 100 度が交わる国を捉えることに課題が見られた。
(小) 算数	良好	<b>数量の変化の様子を捉え、折れ線の傾きを表す問題</b> 伴って変わる二つの数量の変化の様子を表した折れ線グラフを基に、場面に応じて二つの数量の変化の様子を捉え、折れ線の傾きで表すことができていた。
	課題	<b>平行四辺形の面積の求め方を式や言葉を用いて表す問題</b> 平行四辺形の色のついた部分の面積の求め方を、指定された考え方を使い、図形を構成する要素に着目しながら、式や言葉を用いて説明することに課題が見られた。
(小) 理科	良好	<b>調べた情報を基に、生物が生息しやすい環境の条件を捉える問題</b> ダンゴムシの生態に関する情報を基に、ダンゴムシが生息しやすい環境の条件を捉えることができていた
	課題	<b>太陽の位置と物の影の位置との関係を捉える問題</b> ストローの影の位置の観察結果から、時間による太陽の位置の変化を捉えることに課題が見られた。
(中) 国語	良好	<b>場面の展開や登場人物の言動などの描写を基に、登場人物の心情を捉える問題</b> 登場人物の置かれた状況や場面の展開を読み取り、登場人物の言動を基に心情を捉えることができていた。
	課題	<b>描写の仕方や表現の技法に着目し、文学的文章における表現の効果を捉える問題</b> 登場人物の言動や情景描写などに着目し、その表現が登場人物の性格や様子、物語の雰囲気や印象付ける上で、どのような効果があるのかを捉えることに課題が見られた。
(中) 社会	良好	<b>江戸幕府の政治改革について、それぞれの改革の特徴を捉える問題</b> 江戸幕府の政治改革についてまとめた表を用いて、改革の内容を比較して共通点や相違点を見だし、それぞれの改革の特徴を捉えることができていた。
	課題	<b>欧米諸国の近代革命の流れをまとめた年表を基に、近代化の過程を捉える問題</b> 年表から欧米諸国の社会変化の様子を概念的に捉えることや、社会主義が成立した背景の理解に課題が見られた。
(中) 数学	良好	<b>一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察する問題</b> 連立方程式の解は、座標平面上の 2 直線の交点の座標として求められることを理解し、連立方程式の解が、具体的な事象では何を表しているかを捉え考察することができていた。
	課題	<b>データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題</b> 目的に応じてデータの傾向を読み取り、批判的に考察して判断した理由を、ヒストグラムの特徴を基に数学的な表現を用いて説明することに課題が見られた。
(中) 理科	良好	<b>実験結果を基に、目的にあった方法とその理由を説明する問題</b> 実験から弦の長さや音の高さの関係を捉え、手前側で高い音が出る弦楽器の持ち方を説明することができていた。
	課題	<b>地震計の記録から、初期微動を伝える波の速さを求める問題</b> 2つの地点における震源からの距離の差と初期微動の到着時刻の差から、初期微動を伝える波の速さを求めることに課題が見られた。
(中) 英語	良好	<b>会話の流れを踏まえて、文構造や文法事項を正しく用いて正しい語順で文を構成する問題</b> 過去の調査において、正しい語順で文を構成することに課題が見られたが、情報や考えなどについてのやり取りを踏まえて、正しい文を捉えることができていた。
	課題	<b>文法事項や言語の働きなどを理解して、文を正確に書く問題</b> 全国学力調査と同様、与えられた英語を適切な形に変えたり不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させることに課題がみられた。

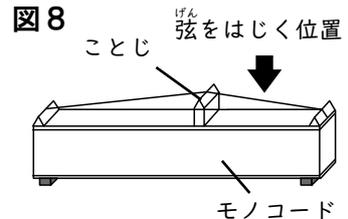
# 中学校理科（良好）

ハーブに興味をもった太郎さんは、自作の弦楽器<sup>げんがっき</sup>をつくるために、弦楽器の弦の長さ  
と音の高さの関係を調べようと考え、次の**実験5**を行いました。

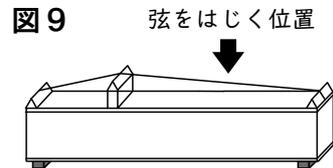
## 実験5

モノコードの弦<sup>げん</sup>をはじいたときに、ことじの位置を変えると音の高さがどのように変わるのかを調べた。このとき、弦を張る強さは変えないようにする。

操作1 図8のことじの位置で弦をはじく。



操作2 図9のように、ことじの位置を左に動かして、弦をはじく。

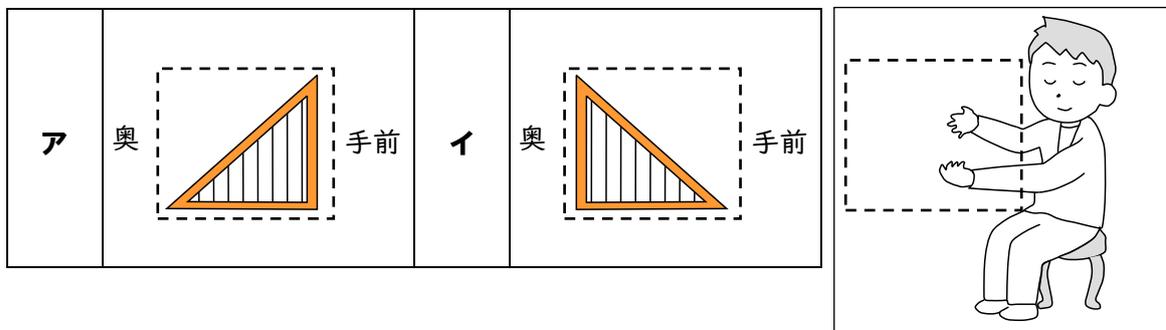


<結果> 操作1よりも操作2のほうが低い音が出た。

実験の結果をふまえて、太郎さんは自作の弦楽器をつくりました。弦の太さや弦を張る強さは、すべて同じにしています。

- (3) 太郎さんは手前側で高い音、奥側<sup>おく</sup>で低い音が出るように弦楽器を持ちたいと考えています。図10の「」に当てはまる楽器の向きは、次のア、イのうちどちらですか。正しい記号を選び、その選んだ理由を、弦の長さと言の高さの关系到ふれて、解答用紙に書きなさい。

図10



——たった一回で見つかるはずないよな。

自分にそう言い聞かせながら、次々と石をわっていった。流れるあせを気にもとめず、ひたすらハンマーをふり続ける。しばらくすると、あちこちで化石を見つけた、と声があがっていた。

それでもハンマーをふり続けていると、突然、

「これが化石なの。やったあ。」

と、ひととき大きな声が耳に入った。ふっと顔を上げると、小さな女の子が満面の笑顔で石を持ち上げている。大人たちも集まり、形がしっかりしている、植物ではないぞ、と盛り上がっていた。

どうやら、女の子が見つけたのは、貝の化石だったらしい。周りにはさわいでいるが、ぼくは無言で石をわり続けていた。カン、カンとハンマーの音だけがひびく。そうして十個目の石がわれた。

——何も入っていない。手の力がぬけ、持っていたハンマーがすべり落ちた。③ ぼくは、石のかけらをかき分けてその場にすわりこんでしまった。

問(二)

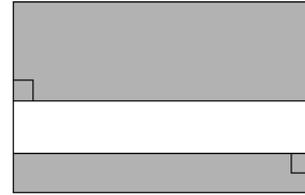
——線部③とありますが、このときの「ぼく」の気持ちを、それまでの、石をわり続けている場面に合わせて説明しましょう。

【下書き用スペース】 ※使っても使わなくてもかまいません。答えは、解答用紙に書きましょう。

# 小学校算数（課題）

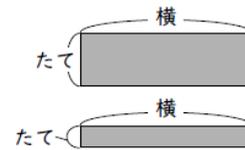
だいちさんたちは、右の図2のような長方形で、色のついた部分の面積の求め方について考えています。

図2



だいち

色のついた部分の面積を別々に求めて、<sup>べつべつ</sup>それらをたすと求めることができるよ。



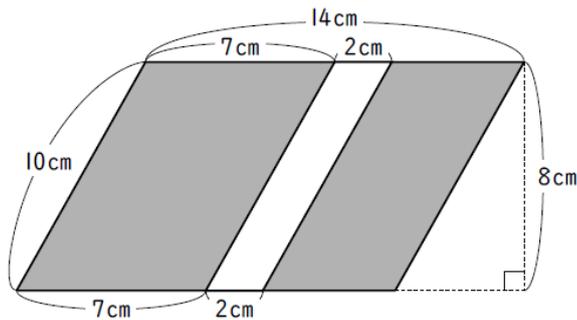
さくら

色がついていない部分を取りのぞき、2つの色のついた長方形をつなげ、1つの長方形にして面積を求めることができるね。



はなこさんは、次の図3のような平行四辺形で、色のついた部分の面積の求め方について考えています。

図3



はなこ

図2の問題で、さくらさんの考え方を使って求めてみたいな。2つの色のついた平行四辺形をつなげ、1つの平行四辺形にして面積を求めることができるね。

(2) はなこさんは、どのように考えて色のついた部分の面積を求めましたか。その求め方を平行四辺形の底辺の長さと高さが分かるように、式や言葉を使って説明しましょう。<sup>かいとう</sup>解答は解答用紙に書きましょう。